

**下記 第 6 回 医薬品レギュラトリーサイエンスフォーラムは終了  
しました。**

## ご報告および発表スライド

-----  
第 6 回 医薬品レギュラトリーサイエンスフォーラムシンポジウム

テーマ： 局方を考える ― これからの日本薬局方がめざすもの ―

日時： 12月22日 (火)

会場： 薬学会館長井記念ホール

主催： 日本薬学会レギュラトリーサイエンス部会

21 世紀に入りまもなく 10 年、創薬関連技術の進歩、医薬品原料供給・製造の国際化等により、医薬品を巡る環境は大きく変化しつつあります。そのような状況下、医薬品の基準書である日本薬局方はどうあるべきか、考えてみようと思います。

1. 9:45 -9:50

はじめに シンポジウムの目的 ―なぜ今― 川西 徹 (国立衛研)

2. 9:50 -10:20

局方 (過去、現在、そして未来) : 医薬品規制の立場から 宇津 忍 (厚生労働省)

3. 10:20-10:50

局方 : 局方 16 改正の方針、それから 早川堯夫 (近畿大学)

4. 10:50-11:10 局方 : 改正審議の仕組みについて 濱本博幸 (総合機構)

5. 11:10-11:40

局方に期待するもの： 医薬品製造管理販売の立場から

猪狩康孝（武田薬品）

6. 11:40-12:10

局方に期待するもの： アカデミア・教育の立場から

中村 洋（東京理科大学）

昼休み

7. 13:10-13:40

局方に期待するもの： 薬剤師の立場から

七海 朗（日本薬剤師会）

8. これからの局方

（1）13:40-14:05 理化学試験法のこれから

四方田千佳子（国立衛研）

（2）14:05-14:30 日局一般試験法について -製薬企業の立場から

柘植英哉（第一三共）

休憩

（3）14:40-15:05 化学薬品各条のこれから

奥田晴宏（国立衛研）

（4）15:05-15:30 生物薬品各条のこれから

山口照英（国立衛研）

（5）15:30-15:55 生薬各条並びに生薬・生薬製剤関連記載のこれから

合田幸広（国立衛研）

（6）15:55-16:20 医薬品添加物のこれから

徳永裕司（総合機構）

（7）16:20-16:45 局方における製剤：製剤総則と製剤試験

青柳伸男（総合機構）

9. 総合討論（16:50-17:30）

進行役：川西 徹（国立衛研）、田邊豊重（日本イーラーリリー）

参加費： 3000円（学生会員1000円）

申込み方法： 日本薬学会レギュラトリーサイエンス部会 HP

（<http://www.nihs.go.jp/doc/rs/index.html>）を開き、さらに  
第6回医薬品レギュラトリーサイエンスフォーラム開催案内  
（<http://www.nihs.go.jp/doc/rs/iyaku/iyaku2009.pdf> : 本ファイルです）  
を開いて、以下の通りに事前登録ください。  
登録受付は11月19日（金）から行います。  
当日受付は予定しておりません。

[参加申込みサイト](#)

- （1） 上記参加申込みサイトをクリックして開き、参加申込用エクセル表をダウンロードしてください。
- （2） エクセル表に登録事項を記入し、登録用メールアドレス  
（[6pharmregforum@nihs.go.jp](mailto:6pharmregforum@nihs.go.jp)）あてに添付書類としてメール送信ください。
- （3） 後日受付番号をメールでお送りします（送信後4日以内に受付番号の連絡がない場合は、メールで問い合わせください）。
- （4） 定員（200名）に達し次第募集をうち切ります。
- （5） 参加費は当日お支払い下さい。その際受付番号を確認させていただきます。  
またおつりのないようお願いします。
- （6） 予稿集は当日お渡しいたします。

問い合わせ先： 〒158-8501 世田谷区上用賀 1-18-1

国立医薬品食品衛生研究所 薬品部 川西 徹

電話 : 03-3700-8469; E-mail: [6pharmregforum@nihs.go.jp](mailto:6pharmregforum@nihs.go.jp)